

今年も出展、サロン・デ・メール 2014

パリ事務所

フランス中の市長が集う展示会

2014 年 11 月 25 日（火）～27 日（木）までの 3 日間、パリ市の南西部にあるポルト・ド・ヴェルサイユ展示会場にて、「サロン・デ・メール（正式名：Le Salon des Maires et des Collectivités Locales ～ 市長と自治体の見本市）」が開催されました。

この展示会は、全仏市町村長会が年に一度開催する総会に合わせ開催されるもので、フランス全国の市長や自治体幹部職員などがパリに集う非常に大規模なものです。このため、非常に展示会が多い時期ではありましたが、26 日（開催初日の翌日）の朝には、テレビのニュース番組でもサロン・デ・メールの様子が取り上げられていました。

このようなフランス中で注目を浴びる展示会に、クレアパリ事務所は 2002 年より毎年出展しています。

クレアパリ事務所は、フランスの自治体関係者に自らの存在をアピールし、かつ日仏自治体間のネットワーク構築を推進することを目的として継続出展してきたわけですが、このことが評価されてか、今年度は、入り口正面の非常に目立つ区画を確保することができ、ブースを設けることとなりました。

注目を浴びる外国からの出展団体

当事務所ブースの訪問者のうち、「どうして日本の機関がここにいるの？」と質問をされた方には、当事務所の設立目的や活動内容を、観光など日本自体に関心のある方には、日本地図を広げて各地の魅力を説明、当事務所の事業などで普段よりつながりのある方とは、良好な関係を再確認する場でもあり、所員を常時複数人配置、各種パンフレットも配架して、これら様々な訪問者に積極的に対応しました。

「クレアのブースに行けば、日本の自治体の情報が得られるから」という理由で来てくださったお客様も何組もあり、継続的に出展してきたことで認知度が上がってきていることも実感できました。

主催者発表によりますと、今年度の入場者は 57,720 人、出展者は 843 団体と、昨年度に引き続き非常に盛況であったようです。特に出展者数は前年比 10%の伸びだったとこのことで、これからも出展の効果がますます期待できるイベントと言えそうです。

今後もパリ事務所では、現地において情報をいち早く収集し、また情報発信を活発に行うなど、日本の自治体のリクエストにお応えできるようより一層取り組んで参ります。



様々なブース訪問者に対応



ブース中央では呈茶のおもてなしも
情報交換の貴重なチャンスでもある

(田中所長補佐 奈良県派遣)

